

# 機能形態学 1

責任者・コーディネーター	神経科学講座 駒野 宏人 教授		
担当講座・学科(分野)	神経科学講座		
対象学年	2	区分・時間数	講義 18 時間
期 間	前期		
単 位 数	1 単位		

・ 学習方針（講義概要等）

機能形態学では、薬理作用を理解する上で必要な薬物の標的となる生体の形態と機能（しくみと働き）に関わる基礎知識を習得する。これにより、薬理学、薬物治療学、医療薬学への学習基盤を確立し、臨床における疾病に対する薬物治療法の基礎を作る。

・ 一般目標（GIO）

機能形態学 1 では、神経系、筋肉系、内分泌系、循環器系、呼吸器系、消化器系の形態と機能を学ぶ。

・ 到達目標（SBO）

1. 神経細胞の構造と機能が説明できる。
2. 代表的な神経伝達物質を列挙し、その生理活性を説明できる。
3. 脳の構造と機能の概要が説明できる。
4. 代表的なホルモンやオータイコイドを挙げ、その産生臓器および生理活性を説明できる。
5. 筋肉系の形態と筋肉収縮機構の概要が説明できる。
6. 心臓と血管系の構造と機能の概要が説明できる。
7. 呼吸器系を構成している気管、気管支、肺、並びに呼吸筋の構造と呼吸運動の生理を理解し概要が説明できる。
8. 消化器系の形態と消化・吸収・代謝機構を理解し、概要が説明できる。

・ 講義日程

(矢) 東 102 1-B 講義室

月日	曜日	時限	講座(学科)	担当教員	講義内容
4/15	火	3	神経科学講座	駒野 宏人 教授	機能形態学 1 の講義概要の説明および中枢神経系・末梢神経系の器官の構造と機能についての講義
4/22	火	3	神経科学講座	駒野 宏人 教授	神経系の興奮と伝導およびシナプス伝達について
5/1	木	3	神経科学講座	駒野 宏人 教授	脳の構造と機能について

月日	曜日	時限	講座(学科)	担当教員	講義内容
5/9	金	3	神経科学講座	駒野 宏人 教授	内分泌系による生体の調節機構
5/13	火	3	神経科学講座	駒野 宏人 教授	内分泌系による生体の調節機構
5/20	火	3	神経科学講座	駒野 宏人 教授	筋肉の収縮機構について
5/27	火	3	神経科学講座	前田 智司 准教授	循環器系:心臓の構造と機能
6/3	火	3	神経科学講座	前田 智司 准教授	循環器系:血管の構造と機能
6/10	火	3	神経科学講座	前田 智司 准教授	呼吸器系:気管・気管支・肺の構造と機能
6/17	火	3	神経科学講座	前田 智司 准教授	呼吸器系:気管・気管支・肺の構造と機能
6/24	火	3	神経科学講座	前田 智司 准教授	消化器系:消化器の構造と機能 (小腸・大腸)
7/1	火	3	神経科学講座	前田 智司 准教授	消化器系:消化器の構造と機能 (肝臓)

・教科書・参考書等(教：教科書 参：参考書 推：推薦図書)

	書籍名	著者名	発行所	発行年
教	機能形態学	櫻田忍、櫻田司	南江堂 (定価 6,000 円)	2009
教	ぜんぶわかる人体解剖図	坂井建雄、橋本尚詞	成美堂 (定価 1,900 円)	2011

・成績評価方法

講義態度、中間試験、定期試験で評価する。

・予習復習のポイント

シラバスを参考にして教科書を予習しておくこと。講義で用いたプリントおよび教科書を用いて復習しておくこと。

・授業に使用する機器・器具と使用目的

使用区分	機器・器具の名称	台数	使用目的
講義	パソコン	1	コンピューターで作成した講義資料を講義室のプロジェクターで映写し、講義に使用する。